



令和元年8月の前線に伴う大雨に対する九州地方整備局の活動状況



～全国のTEC-FORCEが九州に結集し、現場力を活かして全力で支援します～



令和元年9月

気象・降雨の概要

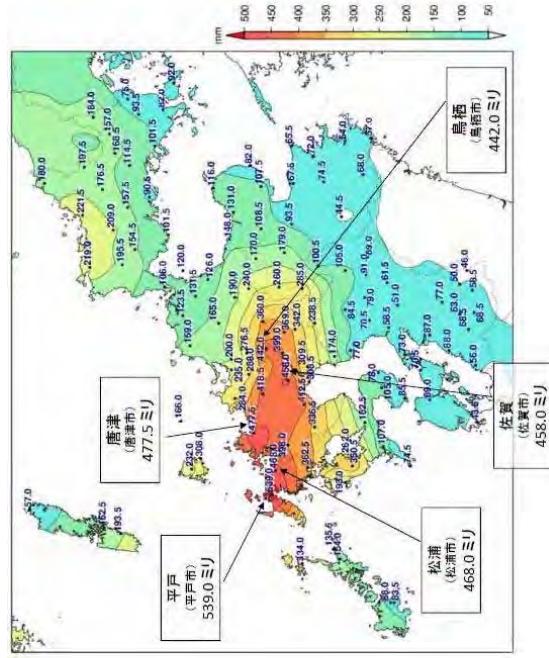
- 8月27日（火）から、前線の活発な活動により九州の広範囲に強い雨域がかかり、**大雨**となりました。



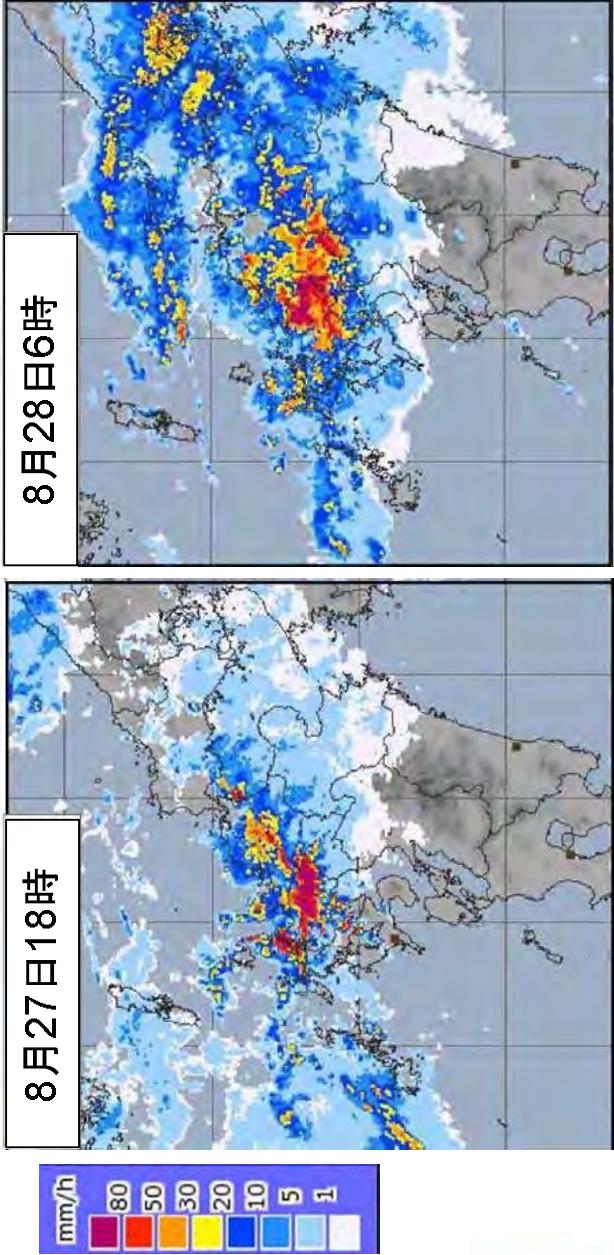
天気図

8月28日6時頃、気象庁HPより

総降水量の分布図(8/26～8/28)



気象レーダー



災害気象資料
一令和元年8月26日から28日にかけての佐賀県・福岡県・長崎県の大暴雨について
令和元年8月29日福岡管区気象台より

九州地方整備局管内の直轄管理河川の状況

- 広範囲にわたる大雨の結果、九州内20の一級水系のうち、5水系で氾濫危険水位を超過。

1. 河川出水状況（直轄河川）

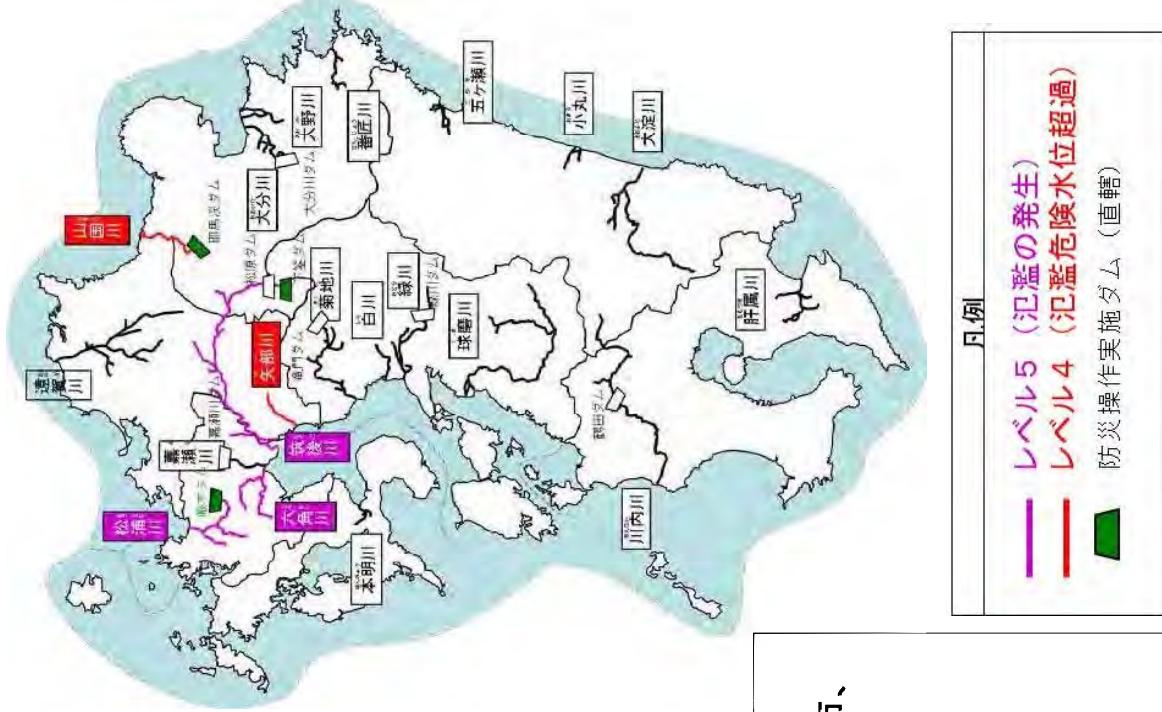
- レベル5（氾濫の発生）<3河川>**
 - ・六角川（牛津川）、松浦川（松浦川）、筑後川（巨瀬川）
- レベル4（氾濫危険水位超過）<6河川>**
 - ・六角川（六角川）、山国川（山国川）、筑後川（城原川）
 - ・矢部川（矢部川）、松浦川（徳須恵川、敵木川）
※現在水位は水防団待機水位以下まで下降

2. 直轄ダム洪水調節状況（直轄河川）

- 直轄3ダムで洪水調節を実施
厳木ダム（松浦川水系）、下筌ダム（筑後川水系）、耶馬溪ダム（山国川水系）

3. 避難指示等の状況（直轄河川沿川）

- 福岡県8市、2町で避難指示及び避難勧告
朝倉市、久留米市、八女市、うきは市、柳川市、小郡市、みやま市、筑後市、大刀洗町、上毛町
- 佐賀県7市、3町で避難指示及び避難勧告
佐賀市、多久市、武雄市、唐津市、伊万里市、小城市、神埼市、江北町、みやき町、白石町
- 大分県1市で避難指示及び避難勧告
中津市
- 熊本県1町で避難指示及び避難勧告
和水町
(避難指示及び避難勧告が発令された市町村を8月30日9時00分時点で集計)



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

記録的な大雨に対して非常体制を発令

- R1.8.27 (火) 九州地方整備局管内の複数の河川で、氾濫危険水位を超過。
- 九州地方整備局 災害対策本部(は、R1.8.27 (火) 18:10に非常体制(風水害)を発令。)
- 同日21:00より、福岡管区気象台と合同で記者会見を開催し、大雨へのより一層の警戒を呼びかけ。



▲ 8月27日(火) 18:10 非常体制発令



▲ 8月27日(火) 21:00
福岡管区気象台と合同で記者会見



▲ 8月27日(火) 21:07
福岡管区気象台より大雨の見通しを解説(TV会議)



▲ 8月27日(火) 21:10
報道機関からの取材状況

テレビ局の取材で河川の状況を解説

- 九州地方整備局管内の河川水位が上昇する中、テレビ中継で河川の水位状況などを解説。



九州地方整備局が保有する防災ヘリ「はるかぜ号」から上空調査

- 被災状況の確認のため、九州地整の防災ヘリ「はるかぜ号」で上空調査を実施。



▲ 九州地方整備局の防災ヘリ「はるかぜ号」

【九州地整】はるかぜ号



▼ 「はるかぜ号」に搭乗するTEC-FORCE



▲ 牛津川上空から被災状況を確認（佐賀県小城市）

【ヘリ位置】佐賀県小城市

【ヘリ位置】

▲ 六角川上空から被災状況を確認（佐賀県大町町）

【ヘリ位置】

地方公共団体へのリエゾン派遣

- R1.8.29(木)～佐賀県庁や大町町など地方公共団体の災害対策本部へ整備局職員（リエゾン）を派遣し、災害情報収集・提供、災害応急対策の支援を実施。



6

△ 国交本省・土研専門家等の活動（佐賀県庁）

国立研究開発法人
土木研究所

九州地方整備局及び他地整TEC -FORCEを被災地へ速やかに派遣

- R1.8.29 (木) 九州地方整備局(は、一刻も早い被災状況の把握と災害復旧対策の技術的支援を行つたため、佐賀県・福岡県・佐賀県の被災箇所に中部・近畿・中国・四国その他地整TECと共に総勢54名のTEC-FORCEを派遣。更に、東北、関東、北陸地整から追加派遣。



▲ 村山局長からの挨拶



▲ 被災地に向け出発するTEC-FORCE



▲ 出発式



▲ 近畿地整 佐久間先遣隊長より決意表明

TEC - FORCEが現地調査等を実施

- R1.8.29(木)～被災状況の調査と災害対策の技術的支援を行うため、中部・近畿・中国・四国・九州のTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）が現地派遣等を実施。



TEC - FORCE ドローン班の活動状況

- R1.8.29(木)～六角川流域の浸水状況を調査するため、九州地方整備局TEC-FORCEのドローン飛行部隊を現地に派遣。



▲離陸前の点検準備



▲ドローンを飛行



▲ドローンを飛行



▲大町町の上空からの撮影

TEC - FORCE 情報通信班の活動状況

- iRAS（無線LAN）で通信を確保し、災害対策本部車においてヘリやカメラ映像、河川情報等を収集。被災箇所への無線カメラの設置や、現地の映像や、現地の映像を本部に送るため衛星通信車を配備。



△ 災害対策本部車



△ 災害対策本部車内で情報収集



△ 無線カメラの設置



△ 衛星通信車

TEC - FORCE 機械班の活動状況

- 武雄河川事務所管内の六角川水系及び松浦川水系に設置されている排水機場、堰、水門、樋門・樋管の機械設備 277 施設の被災状況、不具合状況の調査実施



全国の各地方整備局から集結したTEC - FORCEの活動

- 被災状況の調査と災害復旧対策の技術的支援を行うため、全国から広域派遣（東北・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国）されたTEC-FORCEが、現地調査等を実施。



全国の各地方整備局から集結したTEC-FORCEの活動

- 被災状況の調査と災害復旧対策の技術的支援を行うため、全国から広域派遣（東北・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国）されたTEC-FORCEが、現地調査等を実施。



▲ ドローンによる上空調査 (8/31 関東)



全国の各地方整備局から集結したTEC - FORCEの活動

- 被災状況の調査と災害復旧対策の技術的支援を行うため、全国から広域派遣（東北・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国）されたTEC-FORCEが、現地調査等を実施。



▲ 大町町の被災状況調査（8/31 北陸）



▲ 矢部川の被災状況調査（8/30 中部）



▲ 矢部川の被災状況調査（8/30 中部）



▲ 多久市の被災状況調査（8/31 中部）

全国の各地方整備局から集結したTEC-FORCEの活動

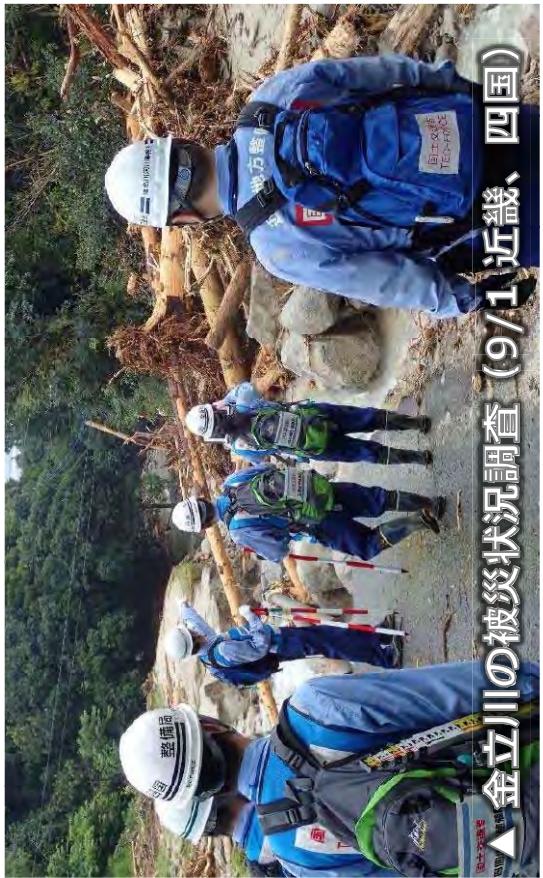
- 被災状況の調査と災害復旧対策の技術的支援を行うため、全国から広域派遣（東北・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国）されたTEC-FORCEが、現地調査等を実施。



▲市道木山川内線の被災状況調査（8/31 近畿）



▲金立川の被災状況調査（9/1 近畿、四国）



▲金立川の被災状況調査（9/1 近畿、四国）



▲金立川の被災状況調査（9/1 近畿、四国）

全国の各地方整備局から集結したTEC - FORCEの活動

- 被災状況の調査と災害復旧対策の技術的支援を行うため、全国から広域派遣（東北・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国）されたTEC-FORCEが、現地調査等を実施。



▲ 大角川の被災状況調査 (8/30 四国)



▲ 排水ポンプ車による排水作業 (8/30 中国)



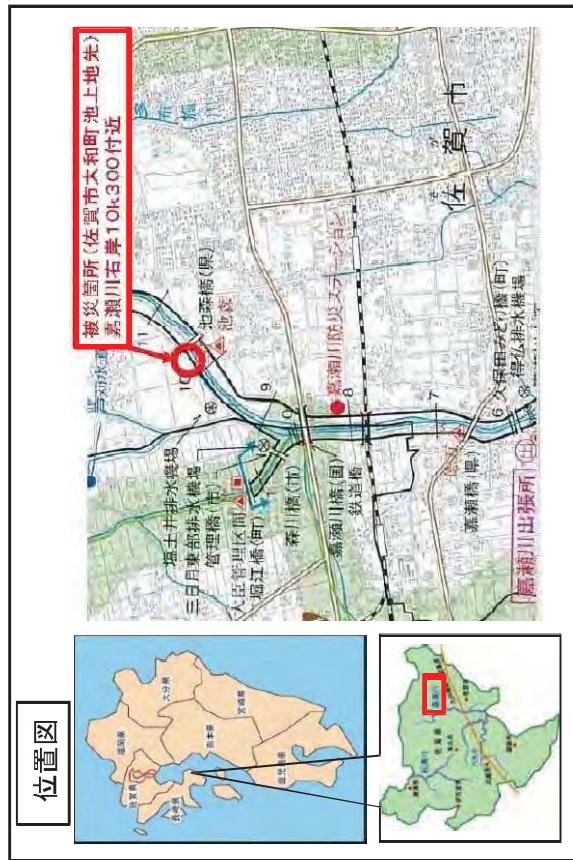
▲ 牛津川の被災状況調査 (8/30 中国)



▲ 大町道路の被災状況調査 (8/30 中国)

嘉瀬川における緊急復旧状況

- 嘉瀬川 右岸10K300付近（佐賀県佐賀市大和町池上地先）における堤防の被災について、
8月29日17時に緊急復旧を完了しました。
- ・ 被災内容：天端亀裂（T=50m）、法面崩壊（T=15m）



牛津川付近 浸水箇所への対応（排水ポンプ車）

- 佐賀県小城市の浸水箇所において、8月28日（水）16時30分頃より2台のポンプ車を設置し排水作業を実施。



全国の各地方整備局から集結した排水ポンプ車にて排水作業を実施

- 広範囲で浸水被害が発生した佐賀県大町町では、家屋の浸水解消や孤立した順天堂病院への通行を可能にするために、夜を徹してポンプ車による排水作業を実施。



▲8月29日 排水作業状況（昼間）



▲8月30日 排水作業状況



▲九州技術事務所への各地域の集結状況



▲8月29日 排水作業状況（夜間）

六角川付近 油流出箇所への対応（オイルフェンス設置、ポンプ排水）

- 佐賀県大町町にある佐賀鉄工所大町工場から油が流出し、浸水中の堤内地に漂流。
- 油の拡散や六角川への流出を食い止めるべく、オイルフェンスの設置やポンプ排水を実施。



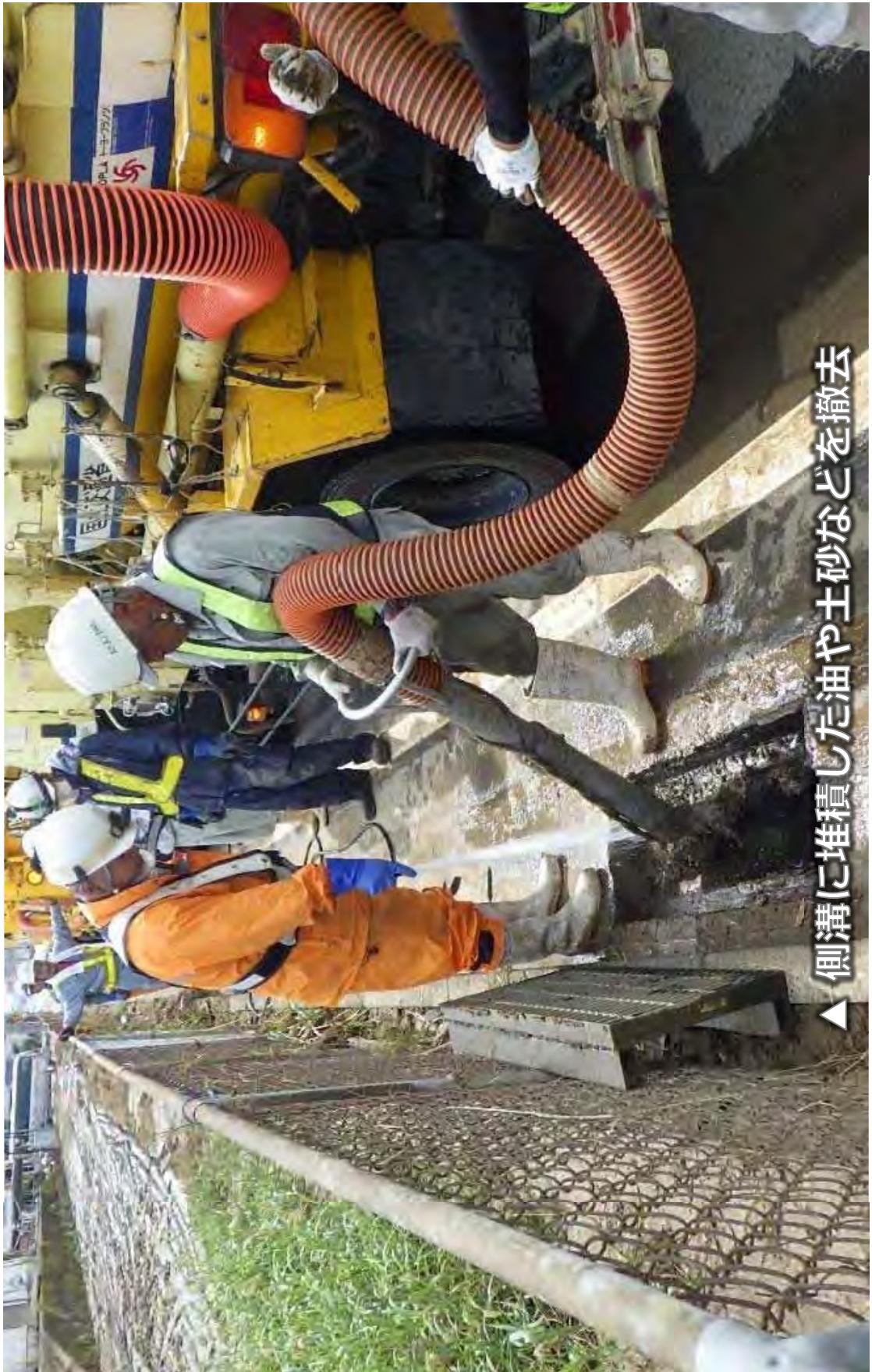
佐賀県大町町で油流出状況の現地確認を実施

- 佐賀県・大町町・自衛隊・自衛隊・九州地方整備局等関係機関合同で佐賀県大町町において油流出及び作業状況について現地確認を実施。



被災地での側溝清掃作業

- 側溝清掃作業車を現地に派遣し、側溝に堆積した油や土砂などを撤去。



▲ 側溝に堆積した油や土砂などを撤去

被災地での路面清掃作業

- 全国から集結した路面清掃車を佐賀県内の各地へ派遣し、浸水した道路に堆積した土砂を取り除き、安全な道路通行を確保。



九州地方整備局が保有する調査観測兼清掃船「海輝」「海煌」

- R1.8.29(木)～九州地方整備局の調査観測兼清掃船「海輝」及び「海煌」は、有明海で確認された油を分散させるため船舶による航走攪拌を実施。また、海域の漂流物回収を実施。



△油の流出に備える「海輝」
かいこう



△「海輝」による航走攪拌
かいき



△漂流物の回収状況（有明海）



△回収した漂流物

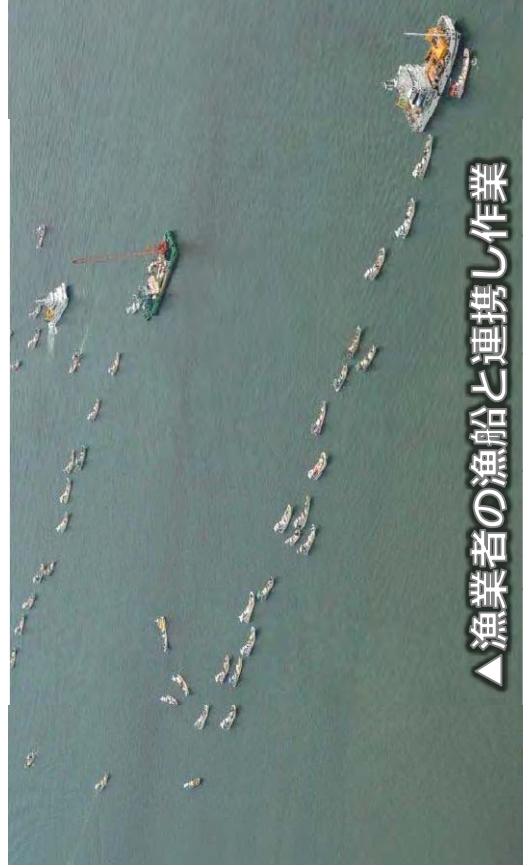
調査観測兼清掃船「海輝」

「海輝」が漁業者と連携し浅海域の漂流物を回収

- 9月3日（火） 調査観測兼清掃船「海輝」「海輝」（は漁業者（福岡有明海漁業協同組合連合会）の漁船約170隻と連携し、豪雨による有明海の浅海域の漂流物の回収を実施。



▲漁船が回収した漂流物の受け取り



▲漁業者の漁船と連携し作業



▲クレーン付き船の漂流物受け取り状況



▲作業中の海輝

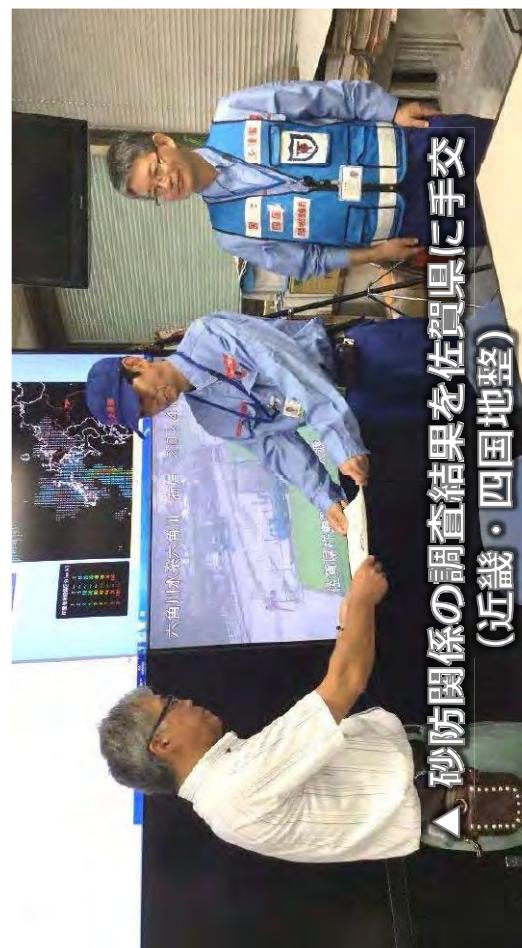
土砂災害専門家（TEC FORCE高度技術指導班）を災害現場へ派遣

- 佐賀県からの要請を受け、佐賀県大町町で発生した土砂崩れに対する技術的助言を行うため、土砂災害専門家（TEC-FORCE高度技術指導班）を派遣。



全国から集結したTEC-FORCEが被災状況調査結果を報告

- 全国から集結したTEC-FORCEが被災状況の調査結果をとりまとめ、佐賀県や大町町等へ報告しました。



地域の建設業者の活躍

- R1.8.28（水）～ 地域の建設業者は、被災地域の一刻も早い復旧を目指し、過酷な現場環境の中で排水作業や油の回収作業などに全力で対応。



▲ 排水ポンプ車設置状況



▲ 油の回収作業にあたる地域の建設業者の方々



▲ 油吸着マット等による油回収



▲ 堤防の除草（集草）作業

佐賀県大町町で油流出緊急対策の最終確認を実施

- R1.9.10(火) 佐賀県・大町町・自衛隊・自衛隊・国土交通省等関係機関合同で佐賀県大町町において油流出緊急対策の最終作業を実施し、緊急対策の終了を確認。



SNSを活用した情報発信

- 九州地方整備局では、Facebook、Twitter、YouTubeを積極的に活用して、被災情報や復旧に向けた活動情報を発信しています。



▲ Facebookを活用した情報発信



▲ Facebookを活用した情報発信



▲ YouTubeを活用した情報発信

▲ YouTubeを活用した情報発信

豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、
被災された皆様、そのご家族の方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。



国土交通省 九州地方整備局

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 福岡第二合同庁舎
電話 092-471-6331(代表)

ホームページアドレス

<https://www.qsr.mlit.go.jp/>

